



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 28 日

上場会社名 NEC ネットエスアイ株式会社 上場取引所 東証一部  
 (英文名: NEC Networks & System Integration Corporation)  
 コード番号 1973 URL <http://www.nesic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 山本 正彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 水谷 勝恒 TEL (03)5463-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	168,516	4.7	4,573	105.2	4,611	103.5	2,345	103.3
19年3月期第3四半期	160,996	21.4	2,229	205.7	2,265	180.6	1,153	263.9
19年3月期	254,641	—	7,849	—	7,860	—	3,476	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	47.14	—
19年3月期第3四半期	23.55	—
19年3月期	70.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	136,224	63,941	46.3	1,268.35
19年3月期第3四半期	131,674	59,779	44.9	1,186.73
19年3月期	148,797	62,201	41.3	1,233.52

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期		7.00		7.00	14.00
20年3月期		10.00			20.00
20年3月期(予想)				10.00	

### 3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	270,000	6.0	10,000	27.4	9,800	24.7	4,300	23.7	86.41

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

**※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績予想につきましては、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないためにリスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日：以下「当四半期」）におけるわが国経済は、原油および原材料価格の高騰による物価高や、改正建築基準法の影響等により住宅建設が低迷しているほか、足元では、サブプライムローン問題による米国経済不安を背景とした株安や円高が進行しております。これらの要因により国内景気は一部で弱い動きが見られるものの、企業収益の改善により設備投資が増加するなど、緩やかながら回復が継続する状況で推移いたしました。

当社グループをとりまく事業環境は、企業においては、業務効率化や生産性向上を目的としたネットワークシステムの導入が進展しております。また、通信業においては、当社の主なお客様である NCC 系通信事業者では、サービス拡充を目的とした投資が継続しており、次世代ネットワーク（NGN：Next Generation Network）についても実証実験（トライアル）が行われ、目前に迫った商用化に向けた準備が整いつつあります。

このような事業環境のなかで、当社グループは、ネットワーク事業分野におけるワンストップサービス体制を強化するため、平成 19 年 4 月にグループ会社である NEC テレネットワークス株式会社を合併いたしました。さらに、10 月には NGN 事業体制の強化等を目的に全社的な組織改革を実施するなど、NGN 時代に向けた強靱な事業基盤を確立いたしました。

NGN 事業につきましては、事業拡大施策として、実証実験への参画に加え、将来の企業向け新サービスを含めた技術力習得のための教育体制を整備、拡充するなど、NGN 対応力の強化に取り組んでまいりました。

企業向けでは、「オフィス移転ソリューション<sup>※1</sup>」により、首都圏を中心としたオフィス移転需要を取り込むなど、新しいソリューションメニューを拡充し、好調に推移いたしました。今年度には、更なる企業マーケットの拡大を図るべく、中堅企業向けオフィスタータルソリューション「Empowered Office（エンパワードオフィス）<sup>※2</sup>」を事業化し、その体感スペースとして「Empowered Office Center」を本社ビルに開設するなど、特に中堅企業を中心としたマーケット対応力強化および体制整備について積極的に取り組んでおります。

さらに、企業風土として定着してきたトータルコスト改革活動（AC-I 活動）に加え、様々な業務プロセスの見直しによる経営効率化の更なる推進のため、今年度より新たにプロセス改革活動を展開するなど、経営改革に繋がる取組みを実行してまいりました。

当四半期の連結業績につきましては、受注高は 1,916 億 98 百万円（前年同期比 1.7%増）、売上高は 1,685 億 16 百万円（前年同期比 4.7%増）となりました。ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業においては、企業および官公庁向けサポートサービスが好調であったことに加え、通信業向け NGN 関連事業が増加したことにより、受注高、売上高ともに増加しました。また、通信工事業においては、前期大型物件の影響により受注高は減少したものの、売上高につきましては、地方自治体や放送事業者向けの通信設備工事等が堅調であったことにより増加しました。

収益面につきましては、売上高の増加に加え、経営改革活動の成果として経営効率が向上した結果、原価率および販管費率が改善し、営業利益は、45 億 73 百万円（前年同期比 105.2%増）となり、経常利益につきましても 46 億 11 百万円（前年同期比 103.5%増）となりました。四半期純利益は、23 億 45 百万円（前年同期比 103.3%増）となりました。

## ※1 オフィス移転ソリューション：

オフィス移転に際し、将来を見据えた戦略的なオフィスプランニングや移転実行までの一貫したマネジメント、設備系・IT 系のあらゆるセキュリティ対策、そして、移転後の効率的なオフィス運用など、これら全てに対応しながら、円滑なオフィス移転を遂行出来るソリューション。

※2 Empowered Office (エンパワードオフィス) :

オフィスワークに関わる 3つの要素(コミュニケーション、インフォメーション、ファシリティ)を効果的に使いこなし、オフィスにおける業務プロセスの革新とオフィス環境の刷新、社員一人一人の増力化(empowered)を図り、企業力アップを実現するソリューション。  
中堅企業オフィス向けに提案から構築、運用保守、アウトソーシングまでオールインワンで対応。

[当社グループの四半期業績の特性について]

当社グループには事業年度を 4 月から 3 月までと定めているお客様が多いため、システムの導入・引渡しが、年度の節目である 9 月および 3 月に集中する傾向にあります。このため、当社グループの業績は、売上、利益ともに第 2 四半期および第 4 四半期に集中する傾向にあります。

このような傾向を改善するため、当社グループは、業績の平準化(売上高の平準化)に取り組んでおり、お客様との契約、納期等の見直しを実施しております。

売上高四半期構成割合

	第 1 四半期	第 2 四半期	上期	第 3 四半期	第 4 四半期	下期
	%	%	%	%	%	%
20 年 3 月期	16.4	27.1	43.5	18.9	37.6	56.5
19 年 3 月期	15.7	29.3	45.0	18.2	36.8	55.0
18 年 3 月期	14.9	29.4	44.3	17.8	37.9	55.7

20 年 3 月期の構成比については、業績予想の売上高を基に算出しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前年同期末に比べ 45 億 50 百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が 78 億 21 百万円増加、たな卸資産が 30 億 32 百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前年同期末に比べ 41 億 62 百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が 38 億 23 百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第 3 四半期累計の業績は、ほぼ予定どおり推移しておりますので、平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、当初予想と変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末	当 四 半 期 末	増 減		(参考) 前期末
	平成19年3月期 第3四半期末	平成20年3月期 第3四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	%	金 額
(資産の部)					
<b>I 流動資産</b>	106,584	113,328	6,744	6.3	125,498
現金及び預金	7,172	6,266	△ 905	△12.6	8,602
受取手形及び売掛金	66,966	74,787	7,821	11.7	95,353
たな卸資産	26,164	23,132	△3,032	△11.6	15,090
その他	7,758	9,417	1,658	21.4	6,652
貸倒引当金	△ 1,477	△ 275	1,202	△81.4	△ 200
<b>II 固定資産</b>	25,090	22,896	△2,194	△ 8.7	23,298
有形固定資産	8,054	8,110	56	0.7	8,260
無形固定資産	3,932	3,620	△ 311	△ 7.9	3,758
投資その他の資産	13,104	11,165	△1,939	△14.8	11,279
<b>資産合計</b>	131,674	136,224	4,550	3.5	148,797
(負債の部)					
<b>I 流動負債</b>	49,977	51,432	1,455	2.9	65,173
支払手形及び買掛金	25,885	34,501	8,615	33.3	48,333
短期借入金	1,000	1,654	654	65.4	531
前受金	7,629	4,447	△3,182	△41.7	3,451
その他	15,461	10,830	△4,631	△30.0	12,857
<b>II 固定負債</b>	21,918	20,849	△1,068	△ 4.9	21,422
長期借入金	5,000	5,000	—	—	5,000
退職給付引当金	16,811	15,721	△1,090	△ 6.5	16,300
その他	106	128	22	20.7	121
<b>負債合計</b>	71,895	72,282	387	0.5	86,596
(純資産の部)					
<b>I 株主資本</b>	59,371	63,185	3,814	6.4	61,692
資本金	13,122	13,122	—	—	13,122
資本剰余金	16,650	16,650	0	0.0	16,650
利益剰余金	29,608	33,431	3,823	12.9	31,931
自己株式	△ 9	△ 18	△ 8	88.4	△ 11
<b>II 評価・換算差額等</b>	△ 314	△ 74	239	△76.2	△ 308
その他有価証券評価差額金	56	13	△ 42	△76.1	△ 14
繰延ヘッジ損益	△ 45	11	56	—	△ 40
為替換算調整勘定	△ 325	△ 99	225	△69.4	△ 253
<b>III 少数株主持分</b>	722	830	108	15.1	816
<b>純資産合計</b>	59,779	63,941	4,162	7.0	62,201
<b>負債純資産合計</b>	131,674	136,224	4,550	3.5	148,797

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

①第3四半期連結累計期間

(平成19年4月1日～平成19年12月31日までの9ヶ月間)

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当 四 半 期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	160,996	168,516	7,519	4.7	254,641
II 売 上 原 価	140,951	145,937	4,985	3.5	221,379
売 上 総 利 益	20,045	22,579	2,534	12.6	33,262
III 販売費及び一般管理費	17,816	18,005	189	1.1	25,413
営 業 利 益	2,229	4,573	2,344	105.2	7,849
IV 営 業 外 収 益	359	466	107	29.8	683
V 営 業 外 費 用	322	429	106	32.9	672
経 常 利 益	2,265	4,611	2,345	103.5	7,860
VI 特 別 損 失	—	238	238	—	586
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,265	4,373	2,107	93.0	7,273
税 金 費 用	1,115	2,029	914	82.0	3,754
少 数 株 主 利 益	△ 2	△ 1	1	—	41
四半期(当期)純利益	1,153	2,345	1,192	103.3	3,476

NECネットエスアイ(株)(1973) 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

②第3四半期連結会計期間

(平成19年10月1日～平成19年12月31日までの3ヶ月間)

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期	当 四 半 期	増 減	
	〔平成19年3月期 第3四半期〕	〔平成20年3月期 第3四半期〕	金 額	増減率
I 売 上 高	46,357	51,119	4,761	10.3
II 売 上 原 価	41,290	44,683	3,392	8.2
売 上 総 利 益	5,066	6,435	1,369	27.0
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,849	6,092	242	4.2
営 業 利 益	△ 782	343	1,126	—
IV 営 業 外 収 益	125	79	△ 46	△ 36.7
V 営 業 外 費 用	47	44	△ 2	△ 5.3
経 常 利 益	△ 704	378	1,082	—
税金等調整前四半期純利益	△ 704	378	1,082	—
税 金 費 用	△ 298	45	344	—
少 数 株 主 利 益	△ 18	26	45	—
四 半 期 純 利 益	△ 386	306	693	—

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

①第 3 四半期連結累計期間

前年同四半期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日までの 9 ヶ月間)

(単位: 百万円)

	ネットワークインテグレーション・ デバイス事業	通信工事業	機器等販 売 事 業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	117,604	53,680	17,195	188,480	—	188,480
売 上 高	101,534	43,046	16,416	160,996	—	160,996

当四半期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日までの 9 ヶ月間)

(単位: 百万円)

	ネットワークインテグレーション・ デバイス事業	通信工事業	機器等販 売 事 業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	125,702	49,413	16,582	191,698	—	191,698
前年同四半期増減	8,098	△ 4,266	△ 612	3,218	—	3,218
売 上 高	109,537	44,246	14,733	168,516	—	168,516
前年同四半期増減	8,003	1,199	△ 1,683	7,519	—	7,519

②第 3 四半期連結会計期間

前年同四半期 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日までの 3 ヶ月間)

(単位: 百万円)

	ネットワークインテグレーション・ デバイス事業	通信工事業	機器等販 売 事 業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	37,127	20,920	4,668	62,716	—	62,716
売 上 高	28,416	12,957	4,984	46,357	—	46,357

当四半期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日までの 3 ヶ月間)

(単位: 百万円)

	ネットワークインテグレーション・ デバイス事業	通信工事業	機器等販 売 事 業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	42,274	14,953	6,299	63,527	—	63,527
前年同四半期増減	5,146	△ 5,966	1,631	811	—	811
売 上 高	33,543	13,619	3,955	51,119	—	51,119
前年同四半期増減	5,127	662	△ 1,028	4,761	—	4,761

(注) 各区分の主要な事業

(1) ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業

顧客の経営効率化や競争力強化のためのネットワークシステムに関する企画・コンサルティング、ソフトウェア開発、構築、運用・保守、アウトソーシングサービスおよび当社開発製品・機器等の提供

(2) 通信工事業

情報通信基盤の建設工事およびこれらに付帯する設備工事

(3) 機器等販売事業

情報通信機器等の販売



[所在地別セグメント情報]

前年同四半期（平成 19 年 3 月期第 3 四半期）

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも 90%を超えているため、記載を省略しております。

当四半期（平成 20 年 3 月期第 3 四半期）

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも 90%を超えているため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前年同四半期（平成 19 年 3 月期第 3 四半期）

海外売上高が連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。

当四半期（平成 20 年 3 月期第 3 四半期）

海外売上高が連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。